

秋 平成22年度(2010)秋季地区予選

M(希望ヶ丘)	希望ヶ丘	浅野	元石川	関東六浦	勝点	得失	順位
希望ヶ丘		11-1	12-4	6-7	6	17	2
浅野	1-11		13-12	2-9	3	-16	3
元石川	4-12	12-13		1-18	0	-26	4
関東六浦	7-6	9-2	18-1		9	25	1

平成22年度(2010)秋季県大会

【1回戦】

9月4日 武相高

希望ヶ丘 2 1 0 0 1 0 0 3 0 | 7

磯子工 0 0 0 0 0 0 0 1 0 | 1

(希) 箕輪、原田-鈴木

(磯) 小島、玉井-村上

▽二塁打 山本、倉敷 (希) 和泉 (磯)

【2回戦】

9月5日 麻溝台高

希望ヶ丘 0 0 0 1 0 0 0 0 0 | 1

大和西 0 2 1 1 2 0 0 0 x | 6

(希) 箕輪、原田、大塚-鈴木

(大) 荒井-三浦

春 平成23年度(2011)春季地区予選

I(希望ヶ丘)	希望ヶ丘	新羽	旭	山手学院	勝点	得失	順位
希望ヶ丘		14-1	12-5	8-7	9	21	1
新羽	1-14		2-11	0-24	0	-46	4
旭	5-12	11-2		2-9	3	-5	3
山手学院	7-8	24-0	12-14		6	30	2

平成23年度(2011)春季大会

【2回戦】

4月10日 等々力球場

希望ヶ丘 1 0 0 0 4 1 5 | 11

荻田 0 0 2 0 0 2 0 | 4

(7回コールド)

(希) 利田、箕輪-鈴木

(荻) 安田、山本-米村

▽三塁打 鈴木、横田 (希) 石井 (荻)

▽二塁打 神林 (希)

【三回戦】

4月16日 大和引地台球場

希望ヶ丘 0 0 0 1 1 0 | 2

桐光学園 4 6 0 0 0 2x | 12

(六回コールド)

(希) 利田、箕輪、大塚-鈴木

(桐) 久保田、田上、遠藤-田中

▽本塁打 倉敷 (希) 菅原 (桐)

▽三塁打 神保 (桐)

▽二塁打 久保田、篠崎、神保 (桐)

夏 第93回全国高校野球選手権神奈川大会

【2回戦】17日保土ヶ谷

試合時間1時間29分

大楠 0 0 0 0 0 | 0

希望ヶ丘 0 2 3 7 X | 12

(五回コールド)

(大) 安田、北原、庄司-仲地

(希) 大塚、小木曾-鈴木

▽本塁打 舟川 (希)

▽三塁打 神林、鈴木 (希)

▽二塁打 山本2、倉敷

▽犠打 大1(北原) 希4(倉敷、野島、箕輪、小川)

▽盗塁 大1(平野) 希1(大戸井)

▽失策 大3(君塚、仲地2) 希0

▽暴投 北原(大) ▽妨害出塁 大塚2(仲地2)

【3回戦】19日平塚球場

試合時間2時間51分

厚木北 0 0 1 2 4 0 1 0 0 | 8

希望ヶ丘 0 0 0 0 4 0 2 1 0 | 7

(厚) 浅木、小川-本多

(希) 大塚、利田-鈴木

▽本塁打 山本 (希)

▽二塁打 小黒、川瀬、山口雄(厚) 山本(希)

▽犠打 厚7(小黒2、小林、佐藤3 浅木) 希1(野島)

▽盗塁 厚0 希0

▽失策 厚2(山口雄、佐藤) 希1(大塚)

▽暴投 浅木(厚)

チーム戦績 113戦 79勝24負10分 勝率0.767

自分がキャプテンを務めさせていただいたこの代のチームは、前の代のチームから試合に出ていたメンバーも多く、1試合平均11得点の強力打線が持ち味でした。

戦績からも分かるように、練習試合ではA戦B戦とありましたが、特にA戦では負けた記憶がないくらいです。「たら」「れば」を言ったらきりがありませんが、自分のくじ運が良ければ、大会で勝ち進める自信はありました。ただ、春は3回戦で桐光学園に敗れ、夏は3回戦で春ベスト4の厚木北に惜敗。個性が強く、個々の能力が高いこんなチームでも、勝ちきれなかったことに、神奈川県の高校野球のレベルの高さや難しさを感じました。

1年生の夏。

開会式の前日か当日に3年生の先輩方の学年で季節外れのインフルエンザが流行り、学年閉鎖になってしまったため、急遽先輩方のユニホームを借りて、自分たちが代わりに夏大の開会式に出ることになりました。1年生で夏大の雰囲気を感じ、高校野球の大きさを目の当たりにした貴重な経験でした。

3年生が引退後、新チームが始動してからの群馬合宿。

ジャグを車に積み忘れたことがきっかけで、試合内容もボロボロだったこともあり、吉野監督にとてつもなく怒られました。特にキャプテン、副キャプテンはそれ以上に厳しく言われたのだと思います。その後の春合宿も怒られた記憶しかありません。

それでも、夏大は保土ヶ谷球場でテレビ中継での試合、そしてキャプテン仲さんのサヨナラタイムリー。最高に感動した試合でした。

そして、いよいよ自分たちの代。

2011年3月11日、東日本大震災の日。

この日もいつも通りグラウンドで練習中でした。内野のシートノックを打っていた吉野監督もノックを受けているメンバーも全く気付いていませんでしたが、照明が揺れている様子を見て、異常な揺れの大きさを感じました。練習もすぐに中断され、電車もほとんど動いていない状況でしたが、帰り道が近い人同士でそれぞれ帰るよう指示をされた、あの日のことは今でも覚えています。

そして、最後の夏の大会。

初戦は保土ヶ谷球場でのテレビ中継。そして、厚木北戦。

平塚球場だったため場所は遠く、雨が降っているにも関わらず、本当に沢山の方が応援に来てくれました。山本のホームランで一気にチームが盛り上がり、勝てる勢いはあったものの、惜しくも1点届かない悔しい試合でした。ただ、応援に来てくれていた下級生、同級生、保護者、そしてOBの方々の数から、希望ヶ丘野球部の伝統と周りからの大きな期待を強く感じました。

そんな野球部のキャプテンを務めることができ本当に嬉しく思います。

今は教育関係の仕事に就いているため、希望ヶ丘高校に憧れている子たちを1人でも多く送り出せるよう頑張ります。

K64 神林 尚輝